

## 文化財の防火訓練を実施

市指定文化財「長岐邸」を会場に



「第53回文化財防火デー（1/26）」を前に1月19日、市の文化財に指定されている七日市の長岐邸で防火訓練が実施されました。

当日は、台所から火災が発生したという想定でおこなわれ、消防車が駆けつけ、放水しました。また、七日市地域の方々の協力も頂き、オイルパンを使つての消火訓練も実施されました。

訓練後、消防署の方からは、「初期消火が大切。しかし、自分の身長より炎が大きくなった場合は、速やかに避難すべき」との指導がありました。地区の参加者からは、「地元大切な文化財をしっかりと守っていききたい」という声が聞かれました。

## 遺跡について熱く語り合う

「伊勢堂岱遺跡を語り合う会」



伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ（佐藤喜美男代表）主催の「伊勢堂岱遺跡を語る会」が1月20日、市中央公民館で行われ、遺跡の謎やこれからのボランティア活動などについて意見を交換しました。

今回の語る会にはワーキンググループのメンバーほか、地域住民合わせ約50人が出席しました。

はじめに佐藤代表が、このボランティアの活動経過報告と合わせ、「世界遺産登録に向けて動き出した、この遺跡のすばらしさを深く理解していただきたい」とあいさつをしました。

自由討議では、「環状列石をみて、縄文人にどんなことを問いたいですか」「縄文人の姿を想像する」など4つの項目について意見を交換しました。出席者からは、「遠い小猿部川からどのようにして重

い石を運んできたのか」といった縄文時代の謎についての意見や、内陸線小ヶ田駅を「伊勢堂岱遺跡駅」に変えられないかなどのPR案も提案され、非常に盛り上がった会でした。

### ■遺跡ボランティアの活動をしませんか？

伊勢堂岱遺跡ワーキンググループの会員を募集しています。活動内容は、休日の遺跡ガイドや、学習会の参加など。詳しくは、生涯学習課 埋蔵文化財整理室（☎60-1185）までお問合せください。



遺跡ワーキンググループのメンバーら約50人が参加した「語る会」



▲「作法」と「心」を学んだ子ども茶道教室

北秋田市の伝統文化こども塾では、児童館や、学童クラブ、子ども未来塾と連携しながら「子ども茶道教室」をおこなっていました。お茶を点てること、いただくことなど、はじめての子どもも多く見られました。慣れない正座をして、背筋を伸ばしての姿勢は多少つらい様子も見られましたが、それでも子どもたちは、幾分緊張しながらも最後まで一生懸命でした。



茶道体験で「心」を学ぶ  
伝統文化こども塾

指導してくださった児玉先生からは、作法はもとより、「優しい心」「感謝の心」など、たくさんの方に聞いてわかりやすく説明していただきました。

## 学びの広場

- 公民館活動 ● 生涯学習
- 文化振興 ● 学校 ● スポーツ

地域で学び、活動する  
皆さんを応援します

北秋田市  
教育委員会

つぞうりの形になっていきました。そして、出来上がった「布ぞうり」をうれしそうに先生に見せたあと、「次はもっと上手に作りたい」と話していました。ゆかたや布団カバーなどの古い布を再利用して作ったこの手作りの「布ぞうり」には温もりが感じられました。

森吉公民館「布ぞうり教室」が昨年12月15・18日の2日間開催され、24人の受講生が布ぞうり作りを体験しました。受講生は、始めのうちは慣れない作業に戸惑っていましたが、「わからないときは何度でも聞いてください」と講師の高橋清子先生から丁寧な指導を受け、少しずつ

## 温もりのある「布ぞうり」

森吉公民館「布ぞうり作り教室」



▲定員を超える申し込みで、2日間の開催となった人気の「布ぞうり教室」

## 新春に花を添えた公民館まつり

綴子公民館「公民館まつり」



▲華やかに新春を飾ったステージ発表

平成18年度綴子公民館まつりが1月6・7日の両日開催されました。まつりでは地区の幼稚園・保育園・小学校をはじめ、サークル、同好会・公民館講座等から、盆栽・絵画・写真・陶器等の作品250点余りが出展されたほか、ステージでの演示では、綴子保育園児の鼓隊演奏をはじめ、郷土芸能・日舞・バレエ・武道の演武等日ごろの練習の成果を披露し、450人余りの観客から大きな拍手を浴びました。

7日は綴子地区の新春交流会も併せて開催され、各集落の婦人会の皆さんの、民謡や踊りを楽しみながら新春の夢を語り、親交を深め合いました。

## 雪ですべろう・あそぼう・たのしもう

阿仁公民館「わんぱくクラブ」



▲元気に雪遊びなどを楽しんだ「わんぱくクラブ」

阿仁公民館主催の「わんぱくクラブ」が1月12日、開かれ、20人の子どもたちが市営松森スキー場でのスキーやそり滑り、公民館でのゲームに挑戦しました。

「雪ですべろう・あそぼう・たのしもう」は今回で2回目ですが、今年は雪が少なく予定していた湯口内スキー場から松森スキー場に変更して開催されました。

スキー場では、子どもたちは阿求道会・阿仁スキークラブの方々からスキーの基本的な指導を受けました。そり滑りでは勢い余ってコースから飛び出し雪の壁に突っ込む子どもたちもいて、スリル満点の滑りで歓声をあげながら楽しんでいました。

冬は自宅に閉じこもりがち子どもも、雪あそびの楽しさを十分満喫しました。